

令和4年度 長野市保健所運営協議会 会議録

- 1 日 時：令和4年8月25日（木）午後1時30分から3時00分まで
- 2 場 所：長野市公文書館2階会議室
- 3 出席者：委員14名、事務局11名
 - (1) 委員：宮澤政彦、原 澄、松井雅彦、小林博昭、山崎 明、若林明子、寺田裕明、馬島園子、中谷照由、鈴木 隆、小林文範、風間悦子、板倉重彦、中村康則
【欠席委員：杉山英子、伊藤君代、福澤政徳】
 - (2) 事務局：小林保健所長、島田保健所副所長兼総務課長、長澤健康課長、大河内食品生活衛生課長、塚田環境衛生試験所長ほか
- 4 公開・非公開：公開
- 5 傍聴者：1名
- 6 報道機関：信濃毎日新聞社
- 7 会議概要

(1) 開 会【午後1時30分】（北村総務課長補佐）

- ・長野市保健所運営協議会条例第5条第2項の規定に基づき、委員17名のうち14名の出席により、当会議の定足数の過半数に達していることを報告
- ・杉山英子委員、伊藤君代委員は所用により欠席の旨を報告
- ・本日の会議は、本市の指針により、公開で開催することの了承

(2) 委員委嘱

(3) あいさつ（宮澤会長）

本日は、令和4年度の長野市保健所運営協議会を開催いたしましたところ、委員の皆様には、たいへん御多忙のところ御出席をいただきまして、感謝を申し上げます。

また、本日お集りの皆様には、新型コロナウイルス感染症につきまして、それぞれのお立場で御対応されていることにお礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症については、7月に入って感染者が急増し、今月8日には「医療非常事態宣言」が発出され、全県の感染警戒レベルが「6」に引き上げられました。さらに昨日、BA5対策強化宣言が出されたところであります。

この間保健所では、積極的疫学調査の重点化を図るなど、また、みなし陽性や自己検査による陽性診断の導入など様々な取り組みを行ってきたと聞いております。

本日は、コロナ対応についての説明が予定されておりますので、保健所の取組状況などについてしっかりと聞きしたいと思います。

また、コロナ対応を行いながら、各種健診業務、食品衛生などの通常の保健衛生業務を行う必要があります、大変御苦労されていることと思います。

委員の皆様には、専門的なお立場で、様々な視点から、また、今後の長野市保健所の施策に生かしていけるよう、忌憚のない多くの御意見、御助言をお聞かせいただくことをお願いいたしまして、御挨拶といたします。

よろしく願いいたします。

(4) あいさつ（小林所長）

(5) 自己紹介はせず、座席表により確認

(6) 議 事

ア 新型コロナウイルス感染症における保健所の取組について（保健所長説明）

イ 保健所業務説明「令和4年度 長野市保健所の概要」（保健所長説明及び各所属長説明）

ウ 質疑・意見交換

(ア) 新型コロナウイルス感染症における保健所の取組について

中谷委員： ニュースなどで2類に指定されている新型コロナウイルス感染症が5類にという話が報道されているが、今後、5類に引き下げられるのか、お聞かせいただきたい。

もう一点、飲食業では、新型コロナウイルス感染症の抗原検査を自主的に行っているものもいる。経済的に負担が生じているが、国等においてその補助制度はあるのか、お聞きしたい。

小林所長： 今後国からどう示されるかはわからないが、5類感染症となった場合、10日間の療養期間や法的な入院がなくなるなど様々な対応が変わってくる。しかし、全ての対応がインフルエンザと同様の5類感染症になるには、しばらく時間を要すると思われる。

また、抗原定性キットは、症状がない人が検査をしても正しい結果が出ない場合がある。そもそも、症状がない者が定期的に検査を行い、陰性を確認するものではないので、頻回に検査をする必要はないと考える。検査には、限界があるということも御理解いただきたい。ただ、検査を希望される場合は、県が薬局等で検査を受けられる事業を行っているので、御利用いただくことはできる。また、症状が出た場合は、医療機関で検査キットを配布しているところもあるため、受診をするか、自身で検査キットを購入して検査をするということでも対応いただければと思う。

小林(文)委員： 新型コロナウイルス感染症について、長野市保健所は、自前で検査を行うなど職員は一生懸命コロナ対応に取り組んでいると思う。ただ、報道では、長野市保健所管内の陽性者数が多い。保健所はなにをしているのかと感じる人もいると思うが、そうでなくて、職員はしっかり業務を行っていると感じなければと感じている。

新型コロナウイルス感染症が発生してからインフルエンザやノロウイルスはほとんど出ていない。なぜ、少ないのか見解を伺いたい。

小林所長： 本市の感染者が多いという点だが、これは、人口が多いという点もあるが、人口密度が高いと感染も多くなるということがある。本市より都市部が突出して多い自治体もあるので、本市が際立って多いということではない。市民からすると、県内で本市の感染者が多くて驚かれる方もいると思うが、最近では、人口割で見るとほとんど地域差はなくなっているという状況である。

インフルエンザが出ていない理由の説明は正直誰にもできないと思っている。ただ、今シーズンは南半球ですでにインフルエンザが流行し、新型コロナウイルス感染症との同時流行がかなり現実味を帯びてきていると言われている。ノロウイルスについては、若干は発生している。やはりアルコール消毒だけだと効きにくいということもあり、注意が必要だと思っている。

(イ) 保健所業務について

中谷委員： 善光寺御開帳での新型コロナウイルス感染症対策について、保健所を中心に取り組んでいただき、開催期間中は大きな感染もなく御開帳を終えることができた。厚く御礼を申し上げる。

小林(文)委員： 先ほどの説明を受けて、動物愛護センターは素晴らしい仕事をしているなど感じた。ただ、市内の公園では犬の散歩が禁止となっている。最近になって7つの公園については犬の散歩が可能となった。市保健所は、犬のしつけ方教室を行い、県下で一番しっかり取り組んでいる。片や公園に犬は入れないというのは非常に残念と感じる。

食品生活衛生課： 公園の問題については、様々なところで御意見をいただいている。平成10年には3つの公園しか立ち入れなかったところが、徐々に増え、現在7か所となっている。これは、公園緑地課がまちづくりアンケートを実施し、その結果を踏まえて増やしてきているという状況。

保健所とすれば、飼い主の皆さんに、他の方に迷惑のかからないような飼い方をしましょうという適正飼育の啓発を行い、これが公園の開放に繋がっていけばと考えている。

また、公園をただ開放すればよいというわけではなく、犬の好きな方もいれば嫌いな方もいるので、共存できるような形になればよいと考えている。御意見については、担当課に報告し、保健所も連携し検討していきたい。

宮澤会長： コロナ禍の中で特定健診や歯科健診の受診率は低下していると言われるがどのような状況か。また、受診率向上の対策としてどのような取組を行っているのか。

健康課： がん検診の受診率は低下しているが、乳幼児健診については、通常どおり受診をしていただいていると感じる。コロナ禍という理由だけに限らず、徐々に検診の受診率が伸び悩んできているが、受診者の節目の年齢で受診勧奨の通知を送付するとともに、休日検診を実施するなど医師会の御協力をいただきながら受診率の向上に努めている。

宮澤会長： 検診率を上げるということは、すなわち医療費にもつながると思うので、さらなる取組をお願いしたい。

エ その他

・なし

(7) その他

・なし

(8) 閉 会【午後3時00分】